



夏休み明け授業がはじまります

校長 曾我 泉

新しい生活様式で過ごす暑い夏休みでした。

外で過ごすことが難しかったのではないのでしょうか。それでも、夏休みの最終週に行ったオンライン登校日・学習相談では、少し日に焼けてたくましくなったように見えた子もいました。それぞれに工夫して過ごされたことが伝わってきました。

新しい生活様式で過ごす中で、だんだんと「特に気を付けなくてはならないことは何か」が知識となって身に付いてきているようです。知識を生かして、場面ごとによって、どのような行動をとるべきか考えられるようになってきています。

「飛沫感染を避けるべきである」という知識が身に付いていれば、人と話すときにはマスクを着けようとするし、マスクをしていなかったら、できるだけ距離をとろうとするでしょう。また、今は、周りに人がいないからマスクをとって大丈夫だろうと考えマスクを外すかもしれません。知識として獲得したことを生かして考え、行動につながるようになります。

実態に合わせた知識を獲得できるようにし、考え、行動につなげていくのは学習そのものです。生涯にわたり、学習が続き、生活の中で活かされていきます。

夏休み明けも新しい学校の生活様式が続きます。必要な知識を身に付け、自分で考えて行動できるようにしていきたいものです。



オンライン登校日
8月31日の持ち物等の確認をしました。

新しいタブレット端末が入ります

9月1日から新しいタブレット端末が導入されます。また、ソフト等が変更になります。8月31日まで使っていたタブレット端末は、電源アダプターと併せて回収します。

新しい内容については、必要に応じてお知らせしていきます。システムの入替えに伴い、混乱が予想されます。だんだんと使い慣れていけるようになります。

新しい生活様式が続きます。

御協力ください。

○毎朝の検温、健康観察を継続します。

同居の家族も含め、体調に不安があるときには登校を控えてください。

出席停止の扱いとなります。

感染に不安があり、登校を控える場合にも出席停止の扱いとなります。

○ハンカチを複数枚持たせてください。

手洗いの回数が多くなります。自分のハンカチ・タオルを使えるようにしてください。

また、汗ふき用ももたせてください。

○マスクの着用を継続します。

基本的にはマスクを着用します。熱中症の心配がある場合や周りとの距離が確保できる場合には外すようにします。予備のマスクと外した後のマスク入れとなるビニール袋を持たせてください。

○水筒の持参を継続します。

水分補給はできるだけ水道を使わずに行いたいと考えています。水筒をもたせてください。

熱中症対応について

暑い日が続きます。学校では、熱中症暑さ指数を参考にしながら、活動をすすめていきます。

「危険：原則として運動禁止」の場合には、校庭や屋上での活動を中止します。

晴れていても外での活動を行わない場合があります。